

最近の雇用失業情勢（令和7年2月の内容）

1 県内概況

「有効求人倍率は1.35倍（季調値）」（前月と同水準）

[概況]

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月と同水準**。

[基調判断]

□ **《情勢維持》**

[判断根拠]

- 有効求人倍率が上昇しているが、一時的な動きかも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向

新規求人数は運輸・郵便業等で増。サービス業等で減。

[新規求人数]

当月：4,926人 サービス業の減員等により-236人
（前年同月 4.6%減）

[産業分類別]

- 「増」（対前年同月比）
 - 【運輸・郵便業】当月：334人 前年同月：+43人
 - 【卸・小売業】当月：661人 前年同月：+27人
 - 【公務・その他】：423人 前年同月：+18人
- 「減」（対前年同月比）
 - 【サービス業】当月：463人 前年同月：-110人
 - 【宿泊・飲食サービス業】当月：366人 前年同月：-107人
 - 【医療、福祉】：1,025人 前年同月：-65人

[地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.35倍 前年同月：+0.19P
【米子所】当月：1.48倍 前年同月：-0.10P
【倉吉所】当月：1.56倍 前年同月：+0.05P

[正社員関連]

有効求人倍率 1.14倍（4か月連続で前年同月を上回る）
→全国指標1.07倍（5か月連続で前年同月を上回る）

[新規求職者数]

当月：1,797人（前年同月18.6%減）